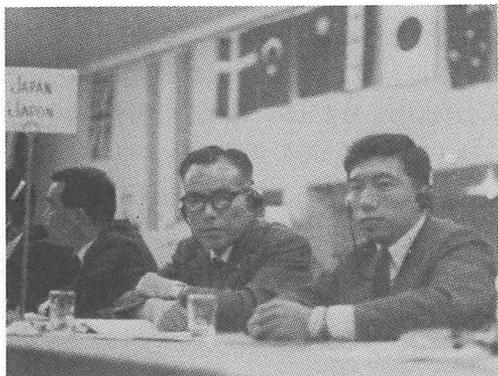


## 監督回顧録

## 「松井監督」を偲んで

編集部

松井清元監督は、平成7年2月12日に、ご逝去された。その松井さんにまつわる「話題」は本書の随所にしたためられている。そこで、ここでは、副会長の西脇義隆氏の「追悼の辞」を掲載することにして、この欄の責を果たすこととしたい。次の写真は、日本のレスリングがまさに絶好調期であった、また同時に関大レスリング部の絶好調期でもあった、昭和41年（1966）の一葉である。場所はアメリカのトレード市。1965年世界選手権大会の会場での国際会議に出席している松井さんの姿である。松井さんは、このとき、日本選手団の団長を務めていた。右側は、松井さん（左）の補佐と日本選手団を支援してくれた、米国在住の八田忠明さん（八田一朗氏の次男）。



写真▷1966年度FILA総会出席の松井さん・左

◇

## 名誉会長 松井清大先輩を偲ぶ

副会長 西脇 義隆(S34年卒)

私事ですが、それは未だ小生が新婚早々の頃であります。或る時小生のかみさんが突然、「お父さんは（俺を結婚当初から、そう、呼んでいた。）唾を吐きまくるのですか？」と問いかけてきました。新婚早々の事であり、女房にしても私に対する何らかの質問や話し掛けについても、それなりに言葉選びも慎重で丁寧な言い廻しをしていた頃でした。それが、「唾を吐きちらす？」。行儀の悪さを指摘しているようです。但し私としても新婚2～3ヶ月の頃であり、今までその様な汚い態度、行動を一度も見せた覚えもありません。「オイ、それは一体なんの事なんだ！」と聞き返すと、「私もようわかりませんが、松井さんがお父さんの事をえらい勢いで云うてはりました！」と答えるのです。それだけの説明ではとても理解出来ず、もう少し詳しく聞いてみると、松井大先輩の氏名が浮かび上がってきました。小生と彼女（妻）は縁があって結婚した。その数ヶ月前に、現在では古いスタイルとなっている「お見合い」と称する男女の会合を某氏の紹介に依り行った次第です。私にも母親が彼女にも母親が付添い、両家の代表の様なつもりで見合った次第です。しかし実際には相手をしっかりで見定めるほど内容の濃い

話し合いが出来る筈もありません。わずか3〜4時間ほどの面談で縁があれば、その後、何十年も一緒に暮らすのですから、そのお見合いだけでは、まるで「アマダクジ」の様なものです。故にお仲人様から得ている相手の情報だけでは少な過ぎるので、すこしでも相手方の情報を持っている人があれば、その方を訪ね、相手の人物や家族、家庭の情報を得ようとします。その彼女側の情報提供者が、なんと、小生の女房の母親の遠縁に当たる松井大先輩であったのです。

お見合いの数時間の内でお仲人の最初の両名の紹介の中で、「この西脇はんは、学生時代、レスリングの選手だったんでっせ！」と大阪弁で（実はこのお仲人は岐阜県出身の方）云われたのです。そのささやかな一情報が、相手方の母親の情報収集管理処理としてインプットされている、レスリングと云えば松井さん（力道山ではない）！と、いまいがた得た情報とが、すなわちこの西脇と云う男のやっていたレスリングとが、オンラインで結ばれたのです。お見合い後、翌日には、東淀川区の松井先輩宅に二人、すなわち母親と女房が訪ね、小生に関する、将来を託するにたるかどうか？、の情報を問い合わせした様です。「そうか、お前らは西脇を知っていたのか？俺はあいつの事は知るも知らんもないほど、知ってるぞ！」から始まり、その第一の質問、小生の人物評についての問いに対し、大先輩の回答！「あいつは、なあ！唾やタンをほうぼうへ、吐きまくりよどお！？」（本当はレスリング道場のマットの上で練習中たまった唾を一寸吐くだけ）、それに、あいつはなかなか人の云う事を聴きよらん！向こう意気の強いガンコな奴や！？」などなど、E T C, E T C ……なんやらもう一つよう分からん回答が返ってきた様です。そこで母親は種々の回答を得て、「へえ！分かりました。松井さん、それでは、その方には、この娘（こ）を嫁（い）かしたらいかんと云う事ですな！」と結ぶと、大先輩が大声で、「なに！ぬかしとんね？誰か嫁にいかしたらあかんと

云うてん？嫁（い）かさんかえ！」（この方こそ、大阪北河内のあまり美しくない大阪弁？この大阪弁は全日本の八田会長などお歴々の集まる協会会合でも発せられる様であり、まさに日本レスリング協会副会長として実にユニークな存在であった様です。）との意見が出て、この嫁入りは俺が仲を取っても良いとの話が出た様です。彼女の母親は恐縮し、お仲人があっての、この見合いであるわけをお話し、お断り、お許しを得た様です。勿論結婚式では素晴らしい？スピーチを戴きました。

日本アマチュアレスリング協会副会長として、さらに全日本学生レスリング連盟にあっては会長として、特に西日本地区の要として八田会長の補佐を十分にこなされた、大先輩でした。協会、連盟に於ける種々の取り決め話し合いの際、関東地区、各大学関係者の各々意見主張を、西日本地区出身とした立場の中立的意見と、大阪弁での意見調整をうまくされた様であり、その重責をになう方々からも、松井さんの意見ならと、大きな信頼を得ておられました。あの大阪弁と、歯に衣をきせない言葉、あの飾らない態度（自分では飾っていると思っておられるむきもあった様だが）、一体どこから来るものか、我々近くに居る者も不思議に何度も思ったものです。

小生が入部した時からのレスリング部の監督であり、合宿練習や各試合、時には国内遠征、海外遠征など色々なシーンには、必ず松井監督がおられお世話になりました。これらの事を数え上げれば数限りありません！私は遠くへ行かれる寸前迄大先輩との二人での会話の機会には、OB会長とも、松井さんとも、先輩とも呼ばずに、「監督さん」と呼ばしていただきました。大先輩は、なんとなく、この「監督」とか、「監督さん」とかの呼称に対し、いたくお気に入りだった様に思えてなりません。

思い出多い1959年の米国遠征の際にも色々とお世話になりました。八田団長に率いられ、笹

原正三コーチ（現協会長）のもと、50余日の素晴らしく楽しい厳しい思い出多い遠征でした。御蔭様でフェザー級フリーの全米チャンピオンにもなれました。これも大先輩が、小遣い用に、当時手に入れにくかった「ヤミ\$」を手配して下さった御蔭と感謝しています。

今1995年、過ぎし36年まさに時は流れた。大先輩にとっても、小生にとっても、世界にとっても、日本にとっても、大阪にとっても、また関西大学にとっても、OB会の皆様にとっても！

勲四等受賞、紫綬褒章受賞

日本アマチュアレスリング協会副会長

全日本学生レスリング連盟会長

西日本学生レスリング連盟会長

大阪府アマチュアレスリング協会会長

関西大学校友会参与

豊里幼稚園理事長

関西大学レスリング部第3代監督

関西大学体育OB会会長

関西大学レスリング部OB会名誉会長

元華族竹田宮様に可愛がられた

元陸軍中尉戦友会で愛された

不思議なくらい女性にもてた

各県名づくし「交通論」の上手だった

学歌、逍遙歌の合唱以外に歌を聞かせて呉れた事のない

何時の間にか必ず「何々長」になっていた

大金持ちだった

家庭にあってはまったくワンマンだった

松井 清 大先輩

本当に何かとお世話に相成り有り難うございました。（本当を云うと、時々、これは、かなわんな！と思った事もあったけど、これは内緒にしておきます。）本当に有り難うございました。重ねてお礼申し上げます。みんなが云っていますよ！松井大先輩が居なくなり、淋しくなったなあ！、しかし一寸すべてがスマートになったかなあ！などと、大先輩のご冥福をお祈り申し上げます。さようなら。さようなら。さようなら。関西大学体育会レスリング部・レスリングOB会は今後もみんなで力を合わせ立派な楽しい組織とチームにしていく所存です。

アッ！それから大先輩が名誉会長で「何を、ぬかしとんねん、嫁（い）かさんかえ！」と云われてから、今年の3月で、31年もたちました。子供二人と、今年は孫も出来て、何とか仲良く元気にやっています。もう一度申し上げます。有り難うございました。（完）